

【NEWS RELEASE】

報道関係各位

2019年3月25日

株式会社KADOKAWA

『ぼくらの七日間戦争』『怪盗レッド』など人気作品多数！ 児童文庫シェア No.1※

「第7回角川つばさ文庫小説賞」贈賞式開催

株式会社KADOKAWA(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:松原真樹)では、小・中学生を読者対象とした児童文庫レーベル「角川つばさ文庫」を発行、児童・生徒のための小説賞「角川つばさ文庫小説賞」を開催しています。2018年7月1日から8月31日に作品を募集した「第7回角川つばさ文庫小説賞」には、多くの素晴らしい作品が寄せられました。このたび、厳正なる審査により受賞作品が決定、「一般部門」では、現役の高校2年生が〈奨励賞〉を受賞。この方は、第5回の「こども部門」で〈準グランプリ〉を受賞した経歴の持ち主です。また、「こども部門」では鹿児島県の小学6年生が〈グランプリ〉を、山形県の中学3年生が〈準グランプリ〉を受賞いたしました。

本賞の贈賞式を3月23日(土)、東京 飯田橋「神楽座」にて開催いたしました。その様子もあわせて本リリースでお伝えいたします。 ※児童文庫レーベルトップシェア。公益社団法人 全国出版協会・出版科学研究所調べ

「第7回角川つばさ文庫小説賞」贈賞式、受賞作品概要



3月23日(土)、宗田理先生、あいはらひろゆき先生、本上まなみさんをお迎えして、第7回角川つばさ文庫小説賞の贈賞式を、東京・飯田橋の神楽座にて執り行いました。

株式会社KADOKAWA 執行役員 文芸局局長 郡司聡の挨拶に続き、各賞の贈賞を実施。一般部門は本上さんが贈賞と総評を、こども部門はグランプリと準グランプリの贈賞をあいはら先生が、特別賞と入賞の贈賞、こども部門の総評を角川つばさ文庫編集長の服部圭子が行いました。最後に主催者と選考委員を代表して宗田先生が本小説賞全体の総評を行い、記念撮影で贈賞式の幕を閉じました。本小説賞史上初めて、低学年の部特別賞に小学1年生が選出され、過去にこども部門を受賞された方が一般部門で入賞するなど、7年に渡り継続してきた本小説賞の実りを感じる、温かな贈賞式となりました。

■一般部門 〈金賞〉〈奨励賞〉作品概要

〈金賞〉 『シークレット ブレス』 高杉六花 さん

【あらすじ】

第一志望校に落ちて、やる気ゼロ状態で進学した吉川さくら。なりゆきで入った吹奏楽部で出会ったのは、全校生徒あこがれのトランペッター・伊吹先輩だった。かっこいいけれどクールで無愛想、近寄る女子は全員撃沈！の伊吹先輩は、さくらにはただ遠いだけの存在。先輩ファンの友だちをよそに、なるべく目立たないようにしていたのに……なぜか伊吹先輩と2人っきりで、秘密のレッスンを受けることになって!?

【受賞の言葉】

このたびは「第7回つばさ文庫小説賞金賞」という素晴らしい賞をいただくことができ、心が震えるほどの喜びを噛みしめています。選考委員の先生方、編集部の方々をはじめ、選考に関わられた皆さま、誠にありがとうございました。

私は今、子育てをしながら大学院に通っています。子どもの心理や発達、教育学、特別支援教育学などを学んでいると、児童期の子どもたちに伝えたいことがたくさん溢れてきます。けれど私は保育者でも教育者でもないの、その機会がありませんでした。今回の受賞によって「物語で伝える」という手段を得ることができ、とても嬉しく、わくわくしています。主人公のさくらが物語の中で気づいたように、自分が進む道に悩んだとしても道の先を創るのは自分自身なのだ、私も身をもって実感しています。

皆さんの心に届くような物語を書けるよう、そして長く愛される作家を目指し、これからも精進してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

